

若 鮎



全校で体力テストをしました(6月14日)

「いじめ」に無関係な人はいない！

校長 岩片 和義

新潟県では6月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」としています。当校では、6月の生活目標を「いじめをしない、許さない」とし、「思いやり月間」にしています。12日(月)に行われた「いじめ見逃しゼロスクール集会」の詳細は後述しますが、その際に私が子どもたちに話した内容をお伝えします。

国立教育政策研究所の調査によれば、小中学生の9割がいじめられた経験をもっています。つまり、ほとんどの子が嫌なことをされ、悲しかったり辛かったりしたことがあるのです。しかし一方で同調査は、いじめをしてはいけないということを知っているはずなのに、9割がいじめた経験ももっていることを明らかにしました。つまり、ほとんどの子が、被害加害の両経験をもっているということです。ここに、いじめ問題の複雑性、解決の困難性があります。

そこで私は集会で、この事実を分かりやすく伝えた上で、次のことを子どもたちに話しました。

- * 「自分はいじめていないから関係ない」とか、「いじめは一部のいじめっ子やいじめられるかわいそうな子の問題」と考えている人が多いと思うが、そうではないこと。
- * みんなも行為の軽重はあれ、嫌なことをされたり、したりした経験はないか、振り返ってみましょう。
- * いじめの解決は、加害被害の直接の当事者(少数者)ではなく、それを見ている周りの子(多数者)の言動にかかっていること。
- * つまり、いじめ問題に無関係な人はいない。一人一人が自分の問題として各学級で決めた「いじめをなくすためにできること」を実行していきましょう。



仲よく遊ぶ1・2年生

さて、上の写真は「全校体力テスト」の様子です。「思いやり月間」のよい実践の場となりました。上学年は、下学年に「こうするとよい記録が出るよ」などと優しくアドバイスする場面が見られました。一方で下学年は、そのアドバイスを受けて試していましたが、それも「思いやり」です。そんな双方向の思いやり、ほほえましい場面をたくさん見て、私もうれしくなりました。

地域の皆様のおかげで、充実したクラブ活動です！

今年度も、4年生以上の子どもたちが参加するクラブ活動が始まりました。どのクラブも、地域の講師の先生方のご協力で、様々な体験活動を楽しんでいます。

家庭科クラブでは、有間川地区の講師の方に教わりながら、おいしいおやつを作っています。

この日は、事前にアイデアを出し合っていて決めていたチョコレートパフェ作りに挑戦です。バナナ、フルーツ缶詰、アイスクリームなどの材料を、各自が思い思いにカップの中に飾り入れ、一人一人のセンスが光る、個性的なパフェが出来上がりました。

おいしい手作りパフェを食べて、みんな大満足でした。



スポーツ&手品&アートクラブでは、長浜地区の講師の方に手品を教わりました。

この日は、「結んでいないのに、あら不思議？結び目ができる」マジックに挑戦です。正しくなめらかに指を動かせるようになるまで、何度も何度も繰り返し練習しました。

飯田さんのご厚意で、道具を借りて家で練習してきてもよいことになり、みんなスキルアップを目指して、自主練習に励んでいます。

このクラブでは、今後、西吉尾地区の講師の方にグランドゴルフを教わる予定です。



ネイチャー・カルチャー探検クラブは、かみえちご山里ファンクラブの皆様と共にバスに乗り、山へ海へとダイナミックに活動を展開中です。

1回目は、桑取地区の古民家を巡り、建物内を探検したり、特徴を教わったりしました。2回目は、茶屋ヶ原、有間川の海岸で、流木やシーグラスなどを拾いました。今後、これらを材料に制作活動を行う予定です。

自然の中で生き生きと活動する子どもたちの瞳が、キラキラと輝きます。



地域の皆様に支えられ、子どもたちの笑顔があふれる時間となっています。充実した活動の機会をご提供いただき、本当にありがとうございます。

いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。

6月は思いやり月間です。

その取組の一環として、12日(月)に、いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。いじめをしない、ゆるさない意識を高め、相手を思いやる態度を育てるためです。

まずは、各クラスの代表が、学級で話し合っただけで決めた「いじめをなくすためにできること」を発表しました。これから学校、学級の中で、このめあてを意識しながら生活します。

その後、いじめ防止ビデオを全校で視聴し、いじめを見逃さないために、一人で悩まず、周囲のいろいろな人にいろいろな形で相談する、つながっていくことが大切だと学びました。

また、第2部のSST(ソーシャルスキルトレーニング)の学習では、「上手な断り方」を学びました。

ここでは、自分も相手も大切にしたい断り方として、「①謝る②できない理由を言う③断る④代わりの意見を言う」とよいことを学びました。

集会で学んだことを生かして、自分だけでなく相手の気持ちを大切にできる子どもたちに育ててほしいです。



グラウンド周囲の立木の剪定を行っていただきました。

グラウンド周囲の立木の成長が著しく、枝が遊具にかかったり、折れ枝が途中にぶら下がったりして危険だったため、これを見かねた西横山地区の方が、今年3月に大規模な剪定作業を行っていただきました。そして、先月から今月にかけて、剪定した枝の片付け作業も進めていただきました。

しかし、お一人ではなかなか作業が進まないため、12日(月)に後援会長様をはじめ、後援会の有志の皆様からも手伝いいただきました。

おかげさまで、グラウンド周囲はすっきりとし、子どもたちが安全に活動できるようになりました。ご尽力くださった皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

